

湊川相野学園 ニュース

発行:2021年12月

No.85

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学「本物の紙芝居がやって来た！」

幼児教育保育学科 佐藤講師の「保育内容言葉」の授業を紹介します。子どもの言葉の獲得や発達過程、そのための環境や保育者としてのかわりをこの科目では学びます。子どもたちが言葉に触れる機会として身近に絵本の読み聞かせや紙芝居がありますが、今回は一般社団法人塩崎おとぎ紙芝居博物館の古橋さんをお招きして『街頭紙芝居』を披露して頂きました。テレビや映画とも違う『街頭紙芝居』

の独特の魅せ方に学生たちもあつという間にその世界へ引き込まれてしまいました。

紙芝居は日本独自の文化であり児童文化財です。特に『街頭紙芝居』は伝承する人が減少しています。今回、日本の文化を継承していく意義と、こどもの豊かな育ちに必要な「こどもだまり(子が集まる場)」の必要性を感じ取ってくれることを願います。



三田松聖高等学校「3年生校外学習」

本年度の3年生の校外学習は12月7日3年生3組5組、8日1組2組4組がふれあいの里 陶芸館に行ってきました。初めて陶芸をする生徒が多く、陶芸の先生の話しをしっかりと聞いていました。まず、コップの作り方や置物の作り方、絵の入れかたなど、教えていただきました。生徒は自分なりの作品を作ろうと試行錯誤していました。友人と何を作るのかを相談したり、お互いの作品を褒め合ったりと楽しく過ごした2時間の内容となりました。完成は2か月後、出来上がるのが楽しみと生徒は待ちきれない様子です。



3年生は残り少ない学校生活となりますが、最後の思い出を友人と創り上げています。



附属ぽるとこども園「クリスマス会」



子ども達が楽しみにしているクリスマス。今年は12月に入るとすぐ子ども達と一緒にクリスマスツリーを飾り、心待ちにしてきました。クリスマス会の15日には2歳児がダンスを踊ったり職員の出し物があったり、少しびっくりもしたサンタさんの来園があったりと盛りだくさんで楽しみました。



優しいサンタさんに色々な質問にも答えて貰い、トナカイ6頭を駐車場に停めてきたことやシチューが好きな事がわかったと子ども達の目が輝いていました。一人ずつプレゼントを貰い、記念撮影もできてとても楽しかったひと時だったようで、サンタさんが帰ってからサンタさんに会いたいと泣きだす子もいるほどでした。

